

2030年には中国の全人口は14億5329万人、65歳以上の高齢者数はそのうちの23・8%の3億4588万人と予測されます。2050年には高齢者人口増加はピークを迎え、高齢者は5億人を突破、総人口の39%を占め超高齢化社会になると予想されます。

ちなみに日本の高齢者比率は、2015年は、65歳以上人口が3277万人、高齢化率は26・0%、2030年には、65歳以上の高齢者人口が3667万人で全人口の31・8%です。高齢化社会については日本が中国の15〜18年ぐらいい先を走っています。

上海は高齢化が中国全土の中で最も進んでいる地域

であり、上海戸籍人口は2013年末時点で約1425万人で、60歳以上の高齢者は387万人を超え、実に高齢者比率は27%超になっています。この数字は日本の高齢者比率を上回っています。このため、上海政府もあらゆる高齢化対策を進めています。

中国では各市区により高齢化対策は違いますが、当社所在の浦東新区では、施設のサービス向上とブランドの強化を進めています。施設に対して、サービス段階（星つきサービス）標準化を進め、専門機関の評価により、3星、4星、5星レベルと認定され、そのサービスレベルを維持することにより、区級財政から一

サービスレベル標準化進む

括で6〜10万円のリハビリ機器などの補助があります。

スタッフに対しては、ヘルパー見習資格を持つと、100元/月、ヘルパー初級資格200元/月、ヘルパー中級資格300元/月、ヘルパー高級資格400元/月の補助が出ます。

現在、上海におけるシニア産業は老人ホーム・訪問介護センター・デイサービスの3つに大別されます。老人ホームに関して、今後政府系老人ホームは寝たきりの介護対象者のみの受け入れしかない事に決まりました。今までコストが高

ゲストハウス社長
松山英樹



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

く、価格競争で不利だった
民間企業は日本と言う、要
支援や要介護状態の高齢者
も受け入れることが可能に
なり、かなりの商圏が見込
めます。デイサービスに関
しては、現状は老人ホーム
のような民間に優位な政策
が出ていないために当分は
苦しい状況が続く事になる
でしょう。